

# 福祉が地域を支える社会の実現

## Case 1



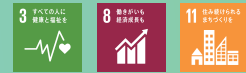
## 誰 もが働きがいのある社会 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

金沢 QOL 支援センターは、障害福祉サービス事業を行っています。障がいがあっても傍楽（はたらく）喜びを感じてもらえるようにパートナー企業と連携し、それぞれの能力が発揮できるように仕事を工夫しています。

石川県の県木である能登ヒバを使った商品は「石川ブランド製品」として石川県知事より表彰も受けました。能登ヒバを薄く削り、ハガキやしおり、結婚式の席次表などに使われています。間伐材を使うことで森を守る活動にもつながり、それが働く人の喜びにもなっています。

農業と福祉を融合させた農福連携の取り組みも注目されています。農業は高齢化が進み人手不足から耕作放棄地も増えています。しかし、自然と触れ合う仕事は障がいのある方にとっても働きやすい環境です。ハーブ農園ペザンさんでは3年前から受け入れていただき今では20名以上の方が働いています。高齢の農家さんから農園を引き継いでほしいという話もいただくようになりました。

# Case 2



## 地域で安心して医療が受けられる社会

私たちのもう一つの主力事業は訪問看護事業やデイサービス事業です。日本社会は超高齢社会となり、今後も医療・介護ニーズが急速に増加すると見込まれていますが、従来の病院で受ける医療だけでは対応できず、よりニーズに対応するための地域、在宅での医療が求められています。私たちはご利用者様が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、在宅での看護やリハビリを通してその人のQOL（Quality of Life：人生の質）の向上を支援しています。

また、障がいのある方でも在宅で看護やリハビリを受けるだけでなく、通所介護（デイサービス）や就労支援に繋げて、できる限り社会復帰をしていただくことも目標としています。特に、脳卒中患者は高齢者だけでなく若年性の方も多く、まだまだ働きたい方や地域や社会に関わりたいた方が多くいます。在宅での生活から地域や社会に主体的に関わっていけることが、ご利用者様の真のQOL向上・福祉が地域を支える社会の実現に繋がると私たちは考えています。

当社では医療—介護—障害福祉の3つの事業が互いに連携を図り、包括的な支援体制を構築しています。



# Case 3

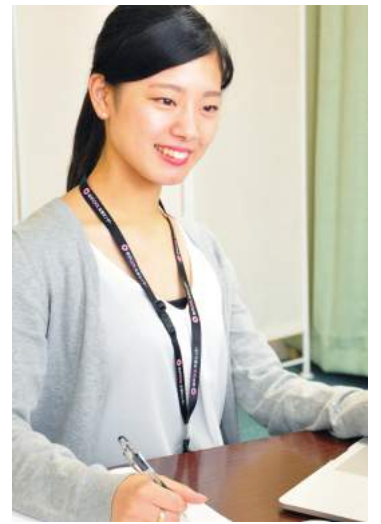


## 働きやすい職場環境

私たちの想いである傍楽（はたらく）とは、施設のご利用者様だけでなく、社員も含めて当社に関わる全ての人たちが、「はたらくこと」や「生きること」の意味を見つけ、働きがいを追求していこうというものです。社員やスタッフが幸せに働くことはサービスの質の向上にも大きく影響すると考えています。

社員やスタッフは女性が多く、雇用形態も正社員、時短社員、パートなどそれぞれのライフスタイルに合わせて選ぶことができ女性、主婦の方がたくさん働いています。管理職も半分が女性で、中には子育てをしながら職務を担っている社員もいます。

このような仕組みが子供を持つ女性社員が安心して仕事と育児を両立できることにも繋がっています。



## これからの取り組み

**1** 耕作放棄地での農福連携の拡大

**2** 研修制度の充実

**3** イーラーニングの導入

**4** さらに女性活躍企業へ

## 金沢 QOL 支援センター株式会社

訪問看護・リハビリテーション事業・リハビリ型デイサービス事業・障がい者就労支援事業  
リハスファーム・脳卒中・身体障害者専門就労支援事業・介護事業所向け現場研修事業  
石川県金沢市西泉1丁目149-1 スパージェルM1ビル2F